



ひ°ひ°た"より

NO.2 2013.4.30

暖かく春の陽差しに包まれて、ひ°ひ°新しい一年がスタートしました。大きく・くり・オムゴーくりさんたちにひとつ大きくなって二歳がうれしくなれて、毎日元気は張り切っています。少し緊張しているけれど、手と足とお顔でも見い出せる涙が出来ることもあるどんぐりさんは、そしてお兄さんお姉さんの楽しそうな様子を見てそれぞれが一歩を踏み出し、日々笑顔が増えてきています。

朝の会が始まる音と金の音がすると、さと真實くんの手をとめて集会の場所へ連れていってあげている悠太くん。泣いていたどんぐりさんは何度も引き止められていた陽麗ちゃん。泰雅くん、宗悟くんが穴を開けたりなど、使っていたやబレをさと持っていました。どんぐりさんを見て「どんぐりたじよあ、小さいからね」「江方ねえよだあ」と枝を探しにきて、枝で穴を開け始めたのです。帰りの会が始まると、まだ遊んでいた美羽ちゃんは「おいで、ちきこで行こう」と声をかけてくれた奏くん。それまで元気で走り回っていた美羽ちゃんは、そこへ来た奥瑛くんと奏くんに手を貸してからも、帰りの会へと歩き出しました。

異年齢の子どもたちが一緒に遊びの空間には、子ども同士の豊かな関わりがたくさんあります。大きな子は小さい子へ声をかけ、お兄さんお姉さんがやっていることを見て乗り越えていく子どもたち。大きく・くり・オムゴーくりさんも、少し前までは上の子ども達に声をかけてもらっていた立場でした。よく遊びの中で、「子ども前に立たないで」、「昔は子どもたちだけだった」と以前と比べて振り返り、小さな子の様子に自分が重ねて見い出している事があります。そして毎日の積み重ねがあり、これからこそ、自分がどう生きるか(?)は今どんぐりさんへ優しく声がかけられるのです。どんぐりの早い時間の降園後、ゆうたと一緒に自分たちのじぶん遊びに没頭するあさいくみさんを見て、きっと彼ら自身にいい子仲間になれる気を遣ってくれるんだよなあ、うれしいなあ、有難いなあと感動します。

どんぐりさんたちは、昨日のバケツと共に行動! 昨日のカタツムリさん元気かな?と昨日のことによく覚えていた壳をやりたいことモテて、なんと涙で止まってしまいました。そして今日は日本の積み重ねがある分、涙を笑顔に切りがえて遊びに向う時間が短くなっています。一步一歩ゆっくりと、自分の足で色々な場面へ歩み出る姿を大切に見守りたいと思います。
：美和子

や田畠田"より

4/16おさらいでは田山さんの苗床で稻の種を蒔きました。昨年ヒートマットから一粒ひとつが種を外れておりましたので、この日苗床にばらばら蒔いて、またからを焼いてから炭をかけました。ビニールで覆いをして、およそ10日のうちに芽が出ることでした。今年は昨年ほど少し遅めに芽で稻を育てましたが、苗床は3cmと大きく育つから田植え一本植えで実験してみようと思いついて、例年より少し田植えが遅くなるかもしれません。(5月最終週～6月始め)これから天候によるのが何よりも吉凶ですが、手を見通いつきましてはお知らせいたします。

わわきいくけだより

23名の2013'わわきいくけがスタートしました。どんぐりだった10名が何と大きく見えることか…。今のどんぐりさんの手を繋いで朝の集会へ連れてきてくる人。シャベルを貸してあげている人。「どんぐりさんかあっちへ行っちゃったよ!」と肩にしてくれる人…。伸びてひびきの日:③「どんぐりさんランナーカーへ、(ソロ)水筒を持った準備に入ってる」。②「どんぐりさん」の絵本の時間がありますへ、普通に座ってます…。

4月は田んぼに行き御代田の事にも行きまして、アートもありました。松まつりでは郁絵さんと初めての対面。アートセット一つひとつをみんなで確認しましたと、水入用瓶に水を入れ自分の場所へ運びます。そっとそっと歩いています。④「木の探し所」にもががっているのは筆と言います。この毛は動物の毛だから優しくへんな。筆を和風呂(水入用瓶)に入れてみて。今度は優しくタオルの上にのせてみて。(黄と青の羊毛を見せながら)⑤「元気は樂いわねまの黄色くんが。筆が優しいわねまの青くんが」(一枚目)⑥「黄色くんと遊んでみた」(二枚目)⑦「青くんと遊んでみた」郁絵さんの話を耳を聴いて聞いています。おはなで「年はオヒザ!! 少し緊張してる? 桧原が待つて朝次朝(次席)にも体験させてあげたかったのですが。

郁絵さんが「りんに会ったときに大きくなつたねえ!!」3人(遼香ちゃんが欠席)はとどこ準備をし次の季節の色で一年の体験の大きさを麻痺して、まずは「郁絵描きの歌」から…。

→ 和室の虹の橋 和室にひっぱり玉の色 和室の歌で 降りてこい
和の和らに降りてこい 和は和えと 郁絵描きの歌

(一枚目)⑧「和花が咲くよ。どんなつぼみも届くわに 光をひっぱり描いて。おさやかに光にひっぱり光を描いて。而びおさやかに花を描いてください」
(二枚目)は自由画。

大川さんは宇大湖山がお休みだと名づけた。⑨「今日の空は?」「青!」⑩「風を感じる?」「ぬるい!」⑪「この三色の春の色は?」「黄色!」⑫「春はやわらかい光で包まれているね。今日も虹から色をもらいましょう」→(郁絵描きの歌)→(一枚目)⑬「春の光をひっぱり描いてください。春の光がひっぱり和歌と種も歌も眠つたまんす。おさやかに花を咲かせ下さい」(二枚目)は自由画。

木を通して一人ひとり春の光が射し和歌から光は一人ひとりを包んでいました。植物にとって(?)樂む一年(?)がかかる。

:真弓

お知らせ

- 今年度 第一回の保護者会がありす。万葉和紙り会でご出席を も願ひます。

日時 5月14日(火) 9時20分~
場所 メインホール

- 4/10配布ひびきだす)の掲示物の中に 軍手 を書き忘れ
ました。毎日の荷物の中に入れておいて下さいます。
も願ひます。
- 松ぼっくりの 折原さんが ネットで 幼児用軍手を購入
され 90組ほど も持ちます。一組80円。必要な
方は 折原さんへ 和声をかけて貰ってくださいと です。
- じんぐりさんの 障園時間が変わります。

5月7日(火) ~ 13日

- 記念忘れがありす。今一度ご確認を も願ひます。

和紙拭き・和紙当箱(アルミ)工下・和紙ハサフ・靴類
靴下・上着・紙オムツ など。

- アート日 5/13(月) 5/20(月)
アートセットを掲示せしめ。

- えりんこたりえ日 5/21(火)



ひびきレシピ Note

ここでは、ひびきのランチで人気のメニューのレシピをご紹介したいと思います。
今回のメニューは「炊き込みごはんセラフ」です。

- まず、骨付きの鶏肉(ひづけには骨付モモ肉)でスープを作ります。(ほ)が。にんにく・ローリエ・ネギの香いヒニン・セロリの葉などお湯にあら香味野菜と鶏肉をコトコト煮て(圧力鍋があれば簡単!)肉はほぐしておきます。香味野菜をひいてスープは塩こしょう、西洋ソース・トマトピューレ・トマトケチャップ(他にもトマトペーストや夏には生トマトでトマトソースなど)トマト味噌(たらひものみ)など少し混ぜて味付けしておきます。
- (ほぐした鶏肉と細かく切った玉ねぎ・人参を油で炒め、塩こしょうにて味を引きます。
- といでお米に①のスープを加え(炊飯器では少量の自盛りまで)②の具とのせ普通に両飯器やお鍋で炊いて出来上がり!
夏にはコーンやペセリを混ぜると食感もきれいですよ。

ひびきの森の小鳥たち (4月: 四十雀 シジュウカラ)

一昨年から集金袋と連動して、月ごとにひびきの森に暮らす生き物たちを紹介してます。一昨年は葉っぱ。昨年は木の実、そして今年は小鳥たちです。トップバッター(子どもたちにもすくわる鳥)は、カリオストロのシジュウカラ。アコ前年の由来はいつもいる(しゃういろ)雀のような鳥というところからつけてます。その名の通り森でよくみかけることができ、春になると「ツツツツー・ツツツツー」とよく通るかわいらしい声でさえあります。3月末頃からオスが巣(巣)作りをはじめ、さきほどどの声で自分の巣(巣)作りを宣言したり、2、3羽でまつれあって飛び回る姿がみられます。

胸にはキリッとした黒のネクタイをしており、それをみせてオス同士(けんか)をすることもあります。ネクタイと歌(声)が素晴らしいオスはみごとメスに選ばれます。4月末頃~6月末くらいにかけ、子育ての時期を迎えるです。

巣材にすくコケを口にくわえて運んだり、子どもたちが産まれると最大1日1羽につき300匹からもの虫を与える。

(ちなみにシジュウカラは平均9~11羽兄弟です。)

こんなに大げしの春なのでしょう。

でもそれ以前には森もすがり静かになります。食料となる虫たちもたくさんいるのです。

今年もおおきいくみで3つの巣箱をつくり、森にかけました。どの巣箱でもたくさんのお母さんが育くまれますように…。

:森の東

